

令和6年度県立高等学校入学者選抜学力検査 国 語

■ねらいと出題の内容、今後の学習指導のために

㊦ 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や書写に関する知識及び技能の定着をみる問題です。

【出題の内容】

漢字の読み書き、書写の知識及び技能に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

漢字については、多様な語句の形で使ったり、様々な文脈の中で使ったりすることができるように、「書くこと」の指導と関連させ、工夫して指導することが必要です。

書写については、漢字の学習と関わらせながら、我が国の言語文化に関する理解を深められるよう指導していくことが大切です。

㊦ 韻文・短歌

【ねらい】

複数の短歌を提示し、短歌に対する理解と鑑賞する力をみる問題です。

【出典】

- A 新装版かぜのてのひら 俵万智歌集 河出書房新社
- B みだれ髪 東京新詩社／伊藤文友館
- C 現代歌人文庫⑦石川不二子歌集 国文社
- D 國歩のなかに 潮音社
- E 現代歌人文庫⑩村木道彦歌集 国文社
- F 秘法 砂子屋書房

【出題の内容】

- 1 短歌の内容や表現の技法などをもとに、短歌に表された情景を読み取る問題です。
- 2 短歌の内容や語彙・語感をもとに、短歌に表された情景を読み取る問題です。
- 3 鑑賞文をもとに、短歌に表された情景を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わいながら、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。

㊦ 古典

【ねらい】

基本的な内容の古典を提示し、基礎的な知識と読解する力をみる問題です。

【出典】

「呂氏春秋」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いに関する問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容を適切に読み取ったり、内容を適切に解釈したりする問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して、根拠を持って話の展開や内容を読み取る力を身に付けさせることが大切です。また、他の作品や資料との関連性を考えて読むことなど、作品の世界をより深く、広く理解することを目指した指導の工夫が求められます。

㊦ 文学的な文章

【ねらい】

文学的文章を提示し、場面の展開や心情などを読み取る力をみる問題です。

【出典】

「きみの話を聞かせてくれよ」 (村上雅郁)

【出題の内容】

- 1 内容の説明を通して、登場人物の心情を適切に解釈する問題です。
- 2 理由の説明を通して、登場人物の心情を適切に解釈する問題です。
- 3 登場人物の心情の変化を適切に解釈し、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 登場人物の心情を文脈に沿って読み取った上で、語を補うことで説明したり、定められた字数でまとめたりする問題です。
- 5 情景描写を理解し、小説の表現を適切に解釈する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的な文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。

五 説明的な文章

【ねらい】

説明的な文章を提示し、論理的な思考力や読解力をみる問題です。

【出典】

「未来倫理」(戸谷洋志)

【出題の内容】

- 1 言葉の意味・用法を識別する問題です。
- 2 本文の内容を正しく読み取り、適切に解釈した上で、定められた字数でまとめる問題です。
- 3 本文の論の展開を読み取り、適切に解釈した上で、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 段落の働きを正しく把握する問題です。
- 5 本文の叙述を的確に把握し、また内容を適切に解釈した上で、語を補うことで説明したり、解釈を吟味したりする問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的な文章の読解の指導では、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に解釈する力も求められます。

六 条件作文

【ねらい】

示された多様な形式の資料の内容を読み取り、条件として与えられた観点に基づいて自分の考えや意見を明確にして書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

問題の設定に基づきながら、「ボランティア活動の内容をどのような方法で案内するとよいか」についての考えや意見を、文字や音声の具体的な特徴に触れながら、作文としてまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

資料から読み取った内容を相互に比較検討しながら考察を深める力や、身に付けた知識を根拠として考えや意見を整理して書く力を身に付けさせる指導が必要です。

■まとめ

国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成のためには、まず基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が求められます。知識及び技能、また思考力、判断力、表現力等の相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。